

令和元年度 全国学力・学習状況調査結果（富士見市）

調査目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査結果（平均正答率）

<小学校問題>

（単位％）

教科	富士見市	埼玉県	全国
国語	62	64	63.8
算数	64	66	66.6

<小学校国語>

（単位％）

学習指導要領の領域等での区分	富士見市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	68.5	71.6	72.3
書くこと	49.6	52.9	54.5
読むこと	79.1	81.1	81.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	54.6	57.1	53.5

<小学校算数>

（単位％）

学習指導要領の領域等での区分	富士見市	埼玉県	全国
数と計算	60.2	62.5	63.2
量と測定	50.2	51.7	52.9
図形	74.4	75.4	76.7
数量関係	66.8	68.3	68.3

< 中学校問題 >

(単位%)

教科	富士見市	埼玉県	全国
国語	71	73	72.8
数学	59	59	59.8
英語	55	56	56

< 中学校国語 >

(単位%)

学習指導要領の領域等での区分	富士見市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	68.1	69.6	70.2
書くこと	81.7	83.0	82.6
読むこと	70.3	72.3	72.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.8	67.0	67.7

< 中学校数学 >

(単位%)

学習指導要領の領域等での区分	富士見市	埼玉県	全国
数と式	63.1	62.4	63.8
図形	72.3	72.0	72.4
関数	39.8	39.3	40.8
資料の活用	56.1	56.3	56.3

< 中学校英語 >

(単位%)

学習指導要領の領域等での区分	富士見市	埼玉県	全国
聞くこと	66.2	68.9	67.9
話すこと			
読むこと	54.9	56.0	55.6
書くこと	44.8	45.9	45.8



小学校国語

令和元年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状

【話すこと・聞くこと】

○話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題があります。

【書くこと】

○目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題があります。

【読むこと】

○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくことに課題があります。

【言語事項】

○文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題があります。

課題

★目的を明確にして情報を関連付けながら聞き、自分の考えをまとめて話すこと

★正確に題意を読み取り、条件に応じて、ふさわしい表現を使って書くこと

★目的に応じて、文章を正確に読み取ること

★自分の考えと関連付けて読むこと

★接続語を用いて、前後の文の意味のつながりを明確にして書くこと

改善にむけて

☆インタビューや、人から話を聞く活動の際に、要点をおさえてメモを取りながら聞くとともに、自分の考えや感想をもつようにすることが大切です。

☆事実と自分の考えを区別するとともに、自分の考えの根拠を明確にして書くことが大切です。

☆文章全体をおおまかに把握し、重要な点を的確に押さえて読むことが大切です。

☆自分の知識や経験、考えなどと関係付けながら読むことが大切です。

☆文と文の意味のつながりに気を付けて内容を分けて書くようにすることや、接続語の役割を正しく捉え使うようにすることが大切です。



小学校算数

令和元年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状	課 題	改 善 に む け て
<p>【数と計算】 ○簡単な計算については概ね理解しています。</p> <p>○加法と乗法の混合した計算をすることに課題があります。</p> <p>【量と測定】 ○既習の求積公式に帰着して考えることに課題があります。</p> <p>○単位量を求めて考えることに課題があります。</p> <p>【図形】 ○図形を回したり裏返したりして組み合わせた図形がどのような図形なのか考察することに課題があります。</p> <p>【数量関係】 ○複数の資料の特徴や傾向を関連付け、目的に応じて必要なデータを収集することに課題があります。</p>	<p>★計算の順序の意味を理解すること</p> <p>★等積、倍積して既習の図形に変形すること</p> <p>★単位量を求めることに気付くこと</p> <p>★図形を多面的にみること</p> <p>★複数の資料から関連のあるデータを収集すること</p>	<p>☆計算に関して成り立つ性質を理解できるようにすることが大切です。</p> <p>☆三角形などの基本図形の面積の求め方を学習する際、等積変形や倍積変形などの考え方を身につけさせることが大切です。</p> <p>☆単位量を求めることによって、どんな大きさの量も比較ができるよさを感じさせることが大切です。</p> <p>☆複数の色板などを使って「ずらす、回す、裏返す」操作を通して、図形を多面的にみる力をつけることが大切です。</p> <p>☆複数の資料を提示し、関連付けて考察する場を設定することが大切です。</p>



中学校国語

令和元年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状	課 題	改 善 に む け て
<p>【読むこと】 ○書き手の目的や意図を考えたり、文章全体と部分の関係を考えたりすることに課題があります。 ○文章の展開に即して情報を整理し、必要な内容を過不足なくとらえることに課題があります。</p> <p>【話すこと・聞くこと】 ○相手に分かりやすく伝わる表現について考えることに課題があります。</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○手紙の基本的な形式を理解し文字の大きさや配列に注意して書くことに課題があります。</p>	<p>★文章の構成や展開を捉えること ★中心的な文章と付け足しの部分、事実と意見などを読み分けること</p> <p>★自分の考えを具体的に分かりやすく言い換えたり、自他の考えを結び付けて話したりすること</p> <p>★封筒の書き方を理解して楷書で書くこと</p>	<p>☆書き手の目的や意図を考えたり、その文章の表現や展開の効果について考えたりすることが大切です。</p> <p>☆話し合いの話題や方向性を捉えたうえで、話題に対する自他の立場や考えを明確にして話すことが大切です。</p> <p>☆手紙、はがき、封筒など日常の生活に書写の成果を生かすことが大切です。</p>



中学校数学

令和元年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状	課 題	改 善 に む け て
<p>【数と式】</p> <p>○基本的な数式の計算は概ねよく理解できています。</p> <p>○連立二元一次方程式を解くことに課題があります。</p> <p>【図形】</p> <p>○三角形の合同条件についての理解は、全国平均を大きく上回っています。</p> <p>○証明を読み、根拠を見出すことに課題があります。</p> <p>【資料の活用】</p> <p>○簡単な場合について、確立を求めることは、概ね理解できています。</p> <p>○多面的に吟味し、判断することに課題があります。</p> <p>【関数】</p> <p>○反比例の理解については、全国平均を上回っています。</p> <p>○具体的な場面において、事象を理想化したり、単純化したりして数学の問題として捉えることに課題があります。</p>	<p>☆2つの文字のうち一方の文字を消去して一元一次方程式に帰着させて解くことについて理解すること</p> <p>☆命題が常に成り立つとは限らないことを説明できるようにすること</p> <p>☆平均値が代表値としてふさわしいかどうかをデータの分布の様子から判断すること</p> <p>☆日常生活における問題を、数学を活用して解決できるようにすること</p>	<p>★加減法や代入法を用いて解くことができるようにすることが大切です。</p> <p>★反例は、命題の仮定を満たしているが、結論を満たしていない例であることを理解できるようにすることが大切です。</p> <p>★データの分布に着目して、その傾向を読み取って判断することができるようにすることが大切です。</p> <p>★日常生活と関連させ、問題場面を想起する習慣をつけると共に、式だけでなく、表やグラフを活用することで、多様な解決方法があり、それぞれのよさについて捉えられるようにすることが大切です。</p>



中学校英語

令和元年度

全国学力・学習状況調査結果分析

富士見市の現状	課 題	改 善 に む け て
<p>【聞くこと】</p> <p>○まとまりのある内容を聞き、適切に応じることができるよう、話し手の意図をとらえることに課題があります。</p>	<p>★情報を正確に聞き取ること</p> <p>★質問や依頼などを聞いて適切に応じること</p>	<p>☆英語の音声の特徴を踏まえて、事実や出来事について必要な情報を正しく聞き取ることが大切です。また、聞いて応じる活動(やりとり)を積み重ねることや、聞き返す力をつけることも大切です。</p>
<p>【読むこと】</p> <p>○まとまりのある文章を読んで大切な部分を読み取ることに課題があります。</p>	<p>★物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること</p>	<p>☆分からない語があっても、推測して読み進めていくことや、繰り返し用いられている語や問いかけなどの手掛かりを基にして、全体のおおまかな内容をとらえることが大切です。</p>
<p>【書くこと】</p> <p>○与えられた情報に基づいて、基本的な語や文法事項等を理解して分を書くことに課題があります。</p>	<p>★語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと</p>	<p>☆実際の場面で活用ができるように、コミュニケーションを行う目的・場面・状況を明確にし、学んだ文法事項を用いて文を書くことが大切です。</p>



令和元年度 全国学力・学習状況調査
富士見市児童質問紙調査結果(小学校調査)

9割以上の児童が肯定的に回答した項目

(◎は9割以上で全国よりも高い ○は9割以上)

- ◎朝食を毎日食べている。
- ◎毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ◎学校のきまりを守っている。
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 国語の勉強は大切だと思う。
- 算数の勉強は大切だと思う。
- 算数の勉強で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



児童の肯定的な回答が低い項目や全国よりマイナスの項目

- ・学校に行くのは楽しい。
- ・新聞を読んでいる。
- ・国語の勉強が好き。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。
- ・日本や住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う。

結果からの考察

課 題	改 善 策
★活字への抵抗感の緩和	★学校や図書館を活用し、新聞を読んだり、興味あるジャンルから読書をするなどしたりして、活字にふれる機会をつくりましょう。
★国・地域への愛着	★2020東京オリンピック・パラリンピック関連イベントや市・地域の様々な行事に積極的に参加し、日本、埼玉県、富士見市のよさにふれる機会をつくりましょう。



令和元年度 全国学力・学習状況調査
富士見市児童質問紙調査結果(中学校調査)

全国より高い項目(一部抜)

(◎は10%以上で全国よりも高い ○は5%以上)

- ◎平日、授業時間以外で2時間以上勉強している。
- ◎学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- ◎学級活動での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- ◎自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。
- 先生は、よいところを認めてくれる。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- 家で、自分で計画を立てて勉強している。
- 授業で学んだことをほかの学習に生かしている。



生徒の肯定的な回答が低い項目や全国よりマイナスの項目

- ・国語の勉強が好き。
- ・新聞を読んでいる。
- ・地域の行事に参加している。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- ・日本や住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う。

結果からの考察

課 題	改 善 策
★生活と学習事項の関連性 ★国・地域への意識	★新聞や本等、活字にふれる機会をつくりましょう。また、生活の中で、学習したことと関連付けて物事を考えたり、疑問点を自分から調べたりすることに取り組みましょう。 ★各種行事に進んで参加し、日本、埼玉県、富士見市のよさに触れ、よりよい社会・地域のために何ができるかを考えてみましょう。



富士見市立学校がめざす授業

- ・学習のめあてが明確で、子どもが話し合い考え、主体的・対話的な授業
 - ・子ども自身が「できた」⇒「わかった」と実感できる授業
 - ・授業で学んだことを自分の言葉でまとめ、振り返ることのできる授業
- 各学校ではそれぞれの課題解決に向けた学校研究を通して、教育委員会では実践的な授業研究会を通して、教員の授業力を高めるとともに、子供たちに学ぶことの楽しさを味わわせ、自ら進んで学習のできる子どもの育成を目指していきます。

基礎学力の定着・向上のために

- ・小学校基礎学力定着支援員、中学校学習支援員、すこやか支援員のさらなる効果的な活用を目指し、支援員を対象とした研修会を実施し、基礎学力の定着及び授業の支援を図ります。
- ・全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査の結果に基づく検証改善サイクルを確立し、各校の課題解決に向けた支援を行い、児童生徒一人ひとりの学力の向上を図ります。
- ・各学校の実情に応じて、補習授業協力者を有効的に活用することで、きめ細かく個に応じた指導を行い、学習意欲を継続させ、基礎学力の定着を図ります。

家庭における学習習慣の確立のために

- ・学力向上プロジェクトチームにおいて作成した「5daysチャレンジ」を活用し、家庭と学校が連携を図り、子どもたちの学力向上の基礎である基本的生活習慣の確立を図るとともに、自主的に学習ができる子どもの育成を目指します。
- ・家庭学習応援事業として、小学校5年生を対象とした「サタデースクール☆ふじみ」を、中学校3年生を対象とした「イブニングスクール☆ふじみ」を開講し、学習習慣の確立を支援します。

教員の指導力向上のために

- ・教員指導力向上研修や英語指導力ブラッシュアップ研修及び、県教育局義務教育指導課との連携事業を実施し、児童生徒が「主体的・対話的で深い学び」となる授業を展開できるよう指導力を高めます。
- ・「富士見スタンダード」(国語、算数・数学、体育)を活用し、教員の授業力の向上を図ります。
- ・若手教員育成指導員を小学校に配置し、若手教員の授業、学級経営等を支援します。

豊かな心、健やかな体の育成のために

- ・「富士見市いじめのない学校づくり子ども会議」を開催し、小学生・中学生が協力していじめをなくすための取組について考え、実践します。
- ・体力向上推進委員会による新体カテストの分析の取組や授業研究会等を通し、健やかな体を育成します。
- ・学校給食センターと連携し、子供たちが健全な心と体を培う食育を推進します。

読書活動の充実のために

- ・市中央図書館と連携・協力し、学校司書への研修会を計画・実行します。
- ・富士見市読書月間を11月に設け、読書活動を推進します。